

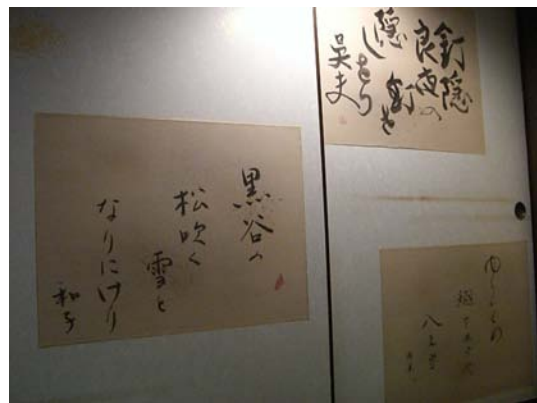


## 【俳句の宿 三木半旅館】 現代有名俳人の書を表装 ロビーで展示公開中

京都市中京区にある三木半旅館では、このたび現代俳人による俳句の半切を襖仕立てに表装し、ロビーに展示公開しています。

展示の句は以下のとおり。

真鍋呉夫「釘隠し良夜の釘を隠しをり」  
加田由美「ゆりかもめ翅を返すや八文字」  
西村和子「黒谷の松吹く雪となりけり」  
茨木和生「傷舐めて母は万能桃の花」  
山本洋子「ははが家に母のもの着し女正月」  
岩城久治「実には実には飛んでえうなき都鳥」(げにやげにとんでようなきみやこどり)



これらの句は平成十七年十二月二十三日(蕪村忌)に蕪村ゆかりの京都・島原「角屋もてなしの美術館」で行われた島原句会にて揮毫され、三木半旅館女将谷口玲子(俳号岡本利英)がその半切を戴いたものです。

表装は中京区六角塚町にある小川溪幽堂・小川晶史氏。  
三木半旅館には俳人関係の宿泊客も多く、それぞれの作家の個性豊かな墨蹟に足をとめてじっと見入る人も多い。



### — 三木半旅館 —

- ・天保年間創業(創業約180年)
- ・京都吟行や新年句会、出版祝賀会など俳句団体によく利用されている。年間宿泊延人数約6万人。
- ・新京極など繁華街のすぐ近くに位置し、年中無休で24時間営業。

作者名訂正のお詫び 加田由美様の記載を誤って岩田由美様と記載していた件について、  
御両名様には多大なご迷惑をおかけ致しましたこと心よりお詫び申し上げます。

【このニュースリリースに関するお問い合わせは】  
株式会社 三木半旅館  
担当 谷口 玲子  
TEL/ 075-221-5189 FAX/ 075-241-3382  
Email/ [info@mikihan.com](mailto:info@mikihan.com)  
住所/ 京都市中京区六角通麩屋町角